



発行所/青山同窓会
〒951 新潟市関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL025-266-2131

編集、発行人/上村光司

印刷所/オリオン印刷機
〒950 新潟市南出来島1-19-1
TEL025-283-2151
FAX025-283-3804

ごあいさつ

青山同窓会会長 37回 鈴木正二



席も増えて居るようですが、
が集まって楽しい輪が広が
り喜ばしいことです。多くの
人ますよう期待しております。

東京青山同窓会 新人歓迎会

皆様お元気で活躍の事とお喜び申し上げます。
毎年、総会で先輩後輩和やかに懇親を深めていただいております。これも各期の幹事の皆さんがいろいろ苦勞いただいて沢山の出席者を募ってくださるお陰で、ありがたいうことだと感謝致しております。同窓会も、母校の創立一〇〇周年に向かってますます盛大になりますよう、今後とも皆さんお誘い合わせて、「ご出席」協力下さるようお願い致します。最近では若い方の出席も増えています。

恒例の「新人歓迎会」が、今年も去る五月二十三日午後七時より、日本橋の東洋経済ビル九階ホールで開かれ、百五十名以上の諸先輩が約八十名の新人を迎えてくださいました。母校からは、新人達の三年担任だった山崎、高崎両先生も駆けつけ、これまでに最高の出席数とかで、会場は溢れんばかりの大盛況でした。

君(東京大)らのリードで応援歌数曲と新旧の校歌を全員で歌い、閉会しました。その後も名残り惜しく、歓談の輪がいくつも、なかなか解けませんでした。

君(東京大)らのリードで応援歌数曲と新旧の校歌を全員で歌い、閉会しました。その後も名残り惜しく、歓談の輪がいくつも、なかなか解けませんでした。



百周年記念について(二)

実行委員総務

59回 関根彰圓

創立百周年記念の準備について進捗状況をお知らせします。去る5月23日に実行委員会を発足させていただきました。

た。まず少数のスタッフです。更にくわしくお知らせできると思います。なお50号で知らせました校舎改築の問題は、県当局のご意向もあって今年度は予算措置がならず、次年度以降に持ち越しとなっております。

今後準備に追われる日々が続きますが、皆様の絶大なご協力を得まして、創立百周年の記念行事と事業が立派に実施できますようお願い申し上げます。

(6月22日)

各期幹事へお願い

一各期名簿を事務局へ

さて実行委員会は来る7月13日に第二回会合をもち基本方針を決定する事になっておりますが、第一回で話し合われた概要を紹介いたします。

式典は平成4年10月17日(土)市の体育館か県民会館を借用し、記念講演会とあわせて実施する。祝宴は同日適切なホテルなどで開催する。

演奏会は実施するならば10月10日前後の文化祭とあわせて行う。記念誌は資料の整理中ですが、平成三年度に執筆にかかりますが、ほぼ千頁、五千円程度に仕上げる予定。名簿は専門業者に委託することになる。施設については校舎の改築問題がらみで未定である。

募金は記念誌と施設を見合わせた上で決定する。以上である。

母校百周年事業の一つとして同窓会名簿の作成が計画されております。前回は九十周年に作成され、以来十年の年月がたっておりますので、同窓生の住所、勤務先などいぶ変更があることと思われま。

各期で作成されている最新の名簿を至急母校同窓会事務局にもご提出くださいますようお願い致します。

60 回 上杉雅之

「君、わかったかね！君達わかったかね！……」何回この言葉が授業中にございましたことだろう。こんな教室が新潟高校にあった。二十数年前の英語の授業だった。特に冗談をとばすでもなく、いわゆる脱線することが多いわけでもなかったが、その先生の授業は人氣があった。生徒に向う後姿は燃えていた。教え、わからせようとする師に本当の人間のあるべき姿を見る思いがするのだった。

63 回 赤羽良樹

昭和三十年卒という、丁度三十五年前となる。私達も若かったが、先生方も皆若々しかった。齊川先生は中でも一番油ののっている頃で、汗をふきふきのエネルギッシュな授業ぶりが今も目に浮かぶ。

新潟中学校、新潟高等学校での通算 27 年にわたる師の教鞭生活最後の六年間、小生は母校にもどりの指導のものと後輩の指導にあたった。

巨体と鋭い眼と腹の底から出る「わかったかね！」で英語指導に情熱を燃やしたジュー先生と机を並べることにになり、身がちぢむ思いと共に心強さを感じたものだった。職員会議では正義を貫く発言がと声かけていたたく事ももう

多く皆をたまらせる迫力があつた。教室では天下国家を論じ、時の政治家の無能を情熱をこめて叱責しておられた。母国日本のためを考えてのことだった。そして何よりも先生は青山同窓生を愛して下さい。

66 回 三浦 哲

出来ないとと思うと哀しい。齊川先生、本当にお世話になり有難うございました。先生もお元気で！何時までも私達の想い出の中で生き続け励まして下さい。

齊川正敏先生追悼特集



平成二年一月三日早朝、齊川正敏先生が永眠されました。先生は、戦終直後の昭和二十一年十一月、沼津商業から新潟高校に着任され、昭和四十七年三月に退職されました。その間、先生の独特の授業は青山健児に緊張と魅力を与え続けました。また会葬に、多くの人が見えて、先生が忘れ難き人であることを物語っていました。ここに先生の往時を偲ぶ教員たちの記事を寄せて頂きました。皆さまと先生のご冥福をお祈りしたいと思います。
(校内幹事 榑倉)

先生をはじめ、かつての悪童連 14 名がかけつけた。はじめに、銀行マンでもある里村和尚の発案で、正座をし、印を結んで、30 秒の黙禱をさせた。

卒業 30 周年パーティー以来の顔合わせで、幻の酒を酌み交しながら、下戸の先生の分まで痛飲し、思い出に話をはなれました。これからも毎年、4 月 29 日

の高校生活は、人格高潔な又高邁な教育理念をもった先生方に恵まれ大変幸せな意義のある三年間でした。

その中で学年主任を務められた齊川先生の英語の授業は、誰一人として忘れることのない思い出として残っていると思います。

文句でした。我々のクラスにはそういう恐ろしい男が大勢いました。

先生公私共長い間大変お世話になりました。先生は決して興奮したり、大声を発したりはしませんが、その授業はいつもピンと糸

よく五百人中六番の成績であった私をみた先生は、私の顔を繁々と見つめられて、「一言、「お前は恐ろしい奴だ！」とおっしゃったのです。長い齊川先生との付き合いの中で、只一度の、しかし一七歳の少年にとつては、とても強烈で嬉しい御褒めの言葉だったと理解しています。

先生は決して興奮したり、大声を発したりはしませんが、その授業はいつもピンと糸

73 回 樋口正昭

故齊川先生は最強、恐の英語教師でした。

先生は、また、生徒をやたらに褒めないことでも有名でした。英作文で百点を取っても「まあまあだな」、程度がせいぜいでした。

そんな先生に、只一度だけ褒められたことを懐かしく思い出します。それは、高等学校二年生の夏休み、私は手術を受けて夏休み中大学病院に入院していました。完全に寝たきりの夏休みであったこと

先生は良く御存知でおられますと二学期が始まって二日後の全学年実力テストで運

「子供達に、見てきたような嘘を言う」と言われると困るので、樋口君、一度外国へ連れて行ってくれ。」とおっしゃってました。高校時代、「二十世紀英米名作選」で、ペナンからシンガポールへ国際列車に乗っていくストーリーの中で、赤道直下の暗黒の中で、赤道の音を聞きながら列車が走る場面があって、私が先生に、「シンガポール行きの国際列車に乗って行くのはどうですか。確かあの場面、仮定法の勉強をした時に出てきたでしょう。」と申し上げました。

先生は、また、生徒をやたらに褒めないことでも有名でした。英作文で百点を取っても「まあまあだな」、程度がせいぜいでした。

そんな先生に、只一度だけ褒められたことを懐かしく思い出します。それは、高等学校二年生の夏休み、私は手術を受けて夏休み中大学病院に入院していました。完全に寝たきりの夏休みであったこと

先生は良く御存知でおられますと二学期が始まって二日後の全学年実力テストで運

69 回 土田 肇

我々六十九回卒業生にとつ

顔を少し上に向け、右手にリリーダを左手のハンカチで顔を拭きながら質問に答えられない私達を詰問する時の決まり

先生のご冥福をお祈りします。この正月に亡くなられた齊川先生を偲ぼうと、66 回卒 3 年 B 組の有志が語らって、去年 4 月 29 日、西堀八の天ぷら屋に集まりました。

先生は良く御存知でおられますと二学期が始まって二日後の全学年実力テストで運

悠久五千年の跡を尋ねて

— エジプトの旅 —

38 回 渡辺義平

(一)平成元年1月11日成田発ア
ンカレッジ經由北極回りで16
時間チュリッヒ着。
①街から見晴らし台の工科大
学まで世界最短期間を走る登
山電車「2分」「世界最初の
登山電車とも言われている」
に感心する。
②欧州一の大時代と云われる
5Fの尖塔を見上げる。
③英国のチャーチル首相が世
界第二次大戦の戦勝演説をし
たバルコニーの記念館に感無
量。
④二台連結の電車の往復する
混雑に驚く。
(二)チュリッヒの研修旅行後
ジュネーブ經由5時間でカイ
ロ着、肌寒い。
①アスワンダム見学 エジプ
ト、ソ連友好の塔あり。「命
の川」と呼ばれるナイル川を
堰止めナセル湖「長さ500
K」が出来て洪水から救われ
たとのこと。
②ナイル川の遊覧船観光。白
い帆掛け船で青い川「大河に
もかわらず」川幅は僅か8
00Mに奇異を感じた。
(三)アブシネル神殿参拝。幅
58M高さ33M奥行き63Mの壮
大なスケール、入口に巨大に
ラムセス二世像四体、この神
殿はダム建設で水没するのを
現在地「60M」移転、ドイツ、
イギリス、アメリカ、イタリ
アの協力で7年掛かった。入
口より奥の神殿に至る壁、柱
に象形文字により記事あり、
古代文明に感心する。
四ルクソールのサルナック神
殿の「音と光のショー」に参
加「18時〜20時」暗闇の神殿
のサーチライトによるキラメ
キの中を涼風を楽しむ。
(五)王家の谷見学
①ピラミッド「墓」見学。第
二ピラミッドに入る。高さ1
43M底部215M四方、腰
を屈め下り100M墓室に至
る。230万個と云われる石
の積み上げの壮大な遺跡に王
室の威力を感じた。
②エジプト考古博物館見学。
★ツタンカーメンスの黄金の
マスク、10kgの金とのこと、
の神の許に行く信じられて
いる。柱面には象形文字で折
りが刻まれている。信仰も色々
あるものと感心した。二本の
うち一本はパリーコンコルド
広場に移された。
③ホテルへは名物の四人乗り
馬車で帰る。
(七)あまり立派でない上下二段
手洗い付きの寝台車でカイロ
着。珍しく降雨あり、神の恵
みか？
①ピラミッド「墓」見学。第
二ピラミッドに入る。高さ1
43M底部215M四方、腰
を屈め下り100M墓室に至
る。230万個と云われる石
の積み上げの壮大な遺跡に王
室の威力を感じた。
②エジプト考古博物館見学。
★ツタンカーメンスの黄金の
マスク、10kgの金とのこと、
の神の許に行く信じられて
いる。柱面には象形文字で折
りが刻まれている。信仰も色々
あるものと感心した。二本の
うち一本はパリーコンコルド
広場に移された。
③ホテルへは名物の四人乗り
馬車で帰る。
(八)モスク「回教寺院」参拝ム
ハマンド、アリ、モスク本堂
の柱、壁が大理石の壮麗な建
物である。イスラム教は毎日
礼拝5回「夜明け、正午、午
後、日没直後、就寝前」モス
クのなかでメッカの方向に向
かいアラア神にお祈りする。
マホメットはコーラン(マホ

メットがアラア神からの啓示
を集めたもの)のシャハーダ
(信仰告白)で「アラア神は
かに神はなくマホメットは神
の使徒である」と唱えたこと
を教えている。仏教徒の私は
納得が出来ない。アラア
神を信じるイスラム教徒に幸
あれと祈る。
★このモスクの玄関の門前に
大砲二門あり、不審であった
が敢えれ教えて貰わなかった。
教派の争いに備えたものか？
(九)カイロ発チュリッヒ、ア
ンカレッジ經由成田着、アラ
スカ10670M(左)からマッ
キンレー山「6149M」が
白銀に美しく輝いていた姿が
印象的であった。
三十九年の新潟地震の直後、
現在の営所通に移転した。以
前は上大川通八にあって、正
面の大きな円型柱に特徴のあ
るギリシャ風の建物であった
が、今は取り毀壊されて、そ
の跡地は、新潟証券取引所と
なっている。現在、新潟税務
署の職員数は百六十名余であ
るが、挙署一体で「適正公平
な課税の実現」と「期限内納
税の実現」に向けて、努力し
ておりますので、よろしく。
(西堀通、東堀通)
堀を流れる水は、必ずしも
奇麗であったという記憶はな
いものの、堀に浮ぶ手漕ぎ舟
をはじめ、堀の西岸に植えら
れた柳と桜の並木は、下所島
から木造の旧昭和橋を渡って、
母校の新潟小学校への通学路
であったこともあって、強く
印象に残っている。現在は堀
はなく、柳都としての情緒が
失なわれた淋しさはあるが、
新都新潟の主要道路として、
「車社会」を支えている。去
る日曜日、西堀ローサを散歩
したところ、若者で溢れてお
り、東京の繁華街にいる錯覚
に驚いた。
(県庁・市役所)
県庁は新光町へ、市役所は
旧県庁跡地へ、それぞれ新築
移転し、市役所跡地は、平成
五年春オープンを目指して、

久しぶりの故郷「新潟」

56 回 朝比奈和三

(前新潟税務署長)

三十数年ぶりに、故郷「新
潟」勤務となり、早いもので
丸一年が経過した。三十数年
という長い年月の間に、新潟
大火、新潟地震という思いも
かけぬ試練を乗り越えて、私
の記憶にある「新潟」が大き
く変貌しているのに驚いた。
三十数年ぶりに、故郷「新
潟」勤務となり、早いもので
丸一年が経過した。三十数年
という長い年月の間に、新潟
大火、新潟地震という思いも
かけぬ試練を乗り越えて、私
の記憶にある「新潟」が大き
く変貌しているのに驚いた。
(新潟駅とその周辺)
新潟駅は、上越新幹線の開
通もあって、東京はいうに及
ばず東北、北陸、名古屋、大
阪各方面を結ぶ拠点として、
将に県都新潟の表玄関の威容
を誇っている。また、駅周辺
(新潟税務署)
私の勤務先であるが、昭和
三十九年の新潟地震の直後、
現在の営所通に移転した。以
前は上大川通八にあって、正
面の大きな円型柱に特徴のあ
るギリシャ風の建物であった
が、今は取り毀壊されて、そ
の跡地は、新潟証券取引所と
なっている。現在、新潟税務
署の職員数は百六十名余であ
るが、挙署一体で「適正公平
な課税の実現」と「期限内納
税の実現」に向けて、努力し
ておりますので、よろしく。
(西堀通、東堀通)
堀を流れる水は、必ずしも
奇麗であったという記憶はな
いものの、堀に浮ぶ手漕ぎ舟
をはじめ、堀の西岸に植えら
れた柳と桜の並木は、下所島
から木造の旧昭和橋を渡って、
母校の新潟小学校への通学路
であったこともあって、強く
印象に残っている。現在は堀
はなく、柳都としての情緒が
失なわれた淋しさはあるが、
新都新潟の主要道路として、
「車社会」を支えている。去
る日曜日、西堀ローサを散歩
したところ、若者で溢れてお
り、東京の繁華街にいる錯覚
に驚いた。
(県庁・市役所)
県庁は新光町へ、市役所は
旧県庁跡地へ、それぞれ新築
移転し、市役所跡地は、平成
五年春オープンを目指して、

近代的都市として、市民にとっ
て住み心地の良い文化的な都
市として、更に飛躍すること
を心から願っている。



折り返し地点

72回 植木和美

(小針塾 講師)

街の片隅の陶芸教室、私もそこで月二回ぐるぐるを回している。ひと塊の土から無心に茶わんを作っていたら、突然、数年前のことを思い出した。それは、六二年のこと。私は、四月から七月までの一学期間、育児休暇の先生の代用教員として、家庭に入っで以

来初めての長期勤務に出た。中学校まで一時間余りかかるため、朝は戦場のようなになり、三人の息子に必要な指示をする

ると七時の電車に乗り込んだ。車窓の景色は家庭から職場へと切り替えるのに十分役立った。何しろ長い空白の後の先

生業。でも、町内会行事、ポイスカウト、PTA活動など、どれも積極的に参加してきた経験も生き、生徒達とはすぐ友達になった。一方、

授業の準備にはさすが緊張の連続。例えば、国語の環境問題を取り扱った文。湖は今では、植物性プランクトン、

自浄作用といった言葉の専門的な裏付けを理科部の先生に質問し、「図書室に行かせられた先生って初めてだ」と言

われてしまった。今思えば、新人の無我夢中さを温かく受けとめてもらって本当に有り難かった。休み時間には切り張りの資料や問題を印刷機にかけて用意し授業に臨んだ。きつと、一人で目を輝かせ勝手に授業をしてしまったこと

のすべての人のお陰で、喜びが最高になったことを感じていた。今も、その時の体験を基に子供達を指導している。教えることと学ぶことが一致して



研究の美しさ

78回 皆川信子

(新潟薬科大学 生化学教室 薬学博士)

18才 新潟高校から果立っ ていく私—その時思い描いていた未来は、果たして生化学者として生命の神秘に迫る姿であったらうか。ふとほ

ほえんてしまう。現在の私は、微生物を相手に実験を繰り返す、それを心から楽しんでい

る。「研究」と言ってしまうが、ただそれだけのことではあ

るが、未だ世界中の誰も知らない生体の構造や機能に光を

当てていくのは、体験した者のみを知る exciting かつ、

Drilling な過程である。とにかく楽しくてしかたがない！

競争し助け合い励まし合う。三年前に西ドイツで研究生活を送る機会を得た。ギリシア文明にまで遡るヨーロッパの科学の伝統の一端に触れることができたような気がする。友人たちの何かにつけての議論好きには少々辟易したこともあったが、異質な視点、異質な発想が絶えずぶつかりせ

めぎ合うことこそ進歩飛躍の原点であろう。議論など非能率とばかりに「根まわし」で

片付ける—よく言えば個性よりも全体の調和を優先する

付け加えさせていただきます。

終わりに、新潟高校の名物教師でいらした松浪清先生が

本学にて相変わらず精力的に活躍しておられ、私も大変お

世話になっておられることをぜひ付け加えさせていただきます。

中国との経済交流

78回 五十嵐祐司

(東邦産業)

六月十三日より十八日迄、廈門訪問団の団長として廈門(アモイ)に行く機会を得た。廈門は中国南部福建省の南都として古くから栄えた町であり、近年は五つの経済特区の一つとして中国開放政策の対外門戸、特に非常に近い台湾の対中進出の窓口として注目を集めつつある人口百万強の年である。そもそも廈門とは私が所属する新潟青年会議所が数年前よりコンタクトし、その縁で六月四日に新潟、ア

日本社会とはおおよそかけ離れた世界であった。また一方日本人特有の美質である *politeness* も異郷ではいかになく威力を発揮する。かけ声ばかりの内容空虚な「国際化」ではない私自身の国際化を心にかけている。

終わりに、新潟高校の名物教師でいらした松浪清先生が本学にて相変わらず精力的に活躍しておられ、私も大変お世話になっておられることをぜひ付け加えさせていただきます。

意見交換を行なった。特に経済特区という事で現実的な交易に關して相手方から抽象的友好だけでなく、強い要請があった。しかし、我々から見るとまだまだ整備を必要とする諸問題が多いという事で大分スレ違う議論があったという気がする。例えば市の貿易委員会では説明もなしに平気で中国語でのPRビデオを延々とみせる(大半の人は途中から寝ていた)。更には昨年より冷凍魚を空輸で成田へ輸出しているという説明に対して、どういふ魚をどの位という質問が出ると、それは航空会社へ行って聞けという按配。個別商談会でサンプルがあるのが珍しい位。三十分で現地がみられるので行くことといったら三時間かかった。その上、詳しい説明の出来る人間がいなかった、など枚挙にいとまがない。そういう基本的な整備がこれからの課題ではないか。そして、その為には我々の出来る事は何か、という事を各部門との会議で率直に話し合った結果、最終的に三つの合意に達した。その一つは、先ずは青年を中心とした(特に青年社長連盟という経済組織)定期的交流を推し進める事、第二は、廈門を紹介する(次頁七段目へつづく)

『在京新中三五会』

— 八〇〇才の集い —

去る四月二十六日、新宿ヒルトンピア街の『鴨川』にて傘本芸能史の貴重な資料の一つ寿を祝う恒例午餐会を開催。席上、熊倉君が五十年在職の日本ビクターでの生活から、忘れ得ぬ人々という題名の私家本を出版し、出席者全員の今後の健康を祈念して二時間で解散。場所柄、校歌の合唱もできず、時間の制約が残念でした。(文責尾崎)



計一〇名
所用並に病氣欠席者—
小林商司、小原正一、桜井貞一、中村信一、丸山求藏 計五名
出席者左記の通り—
入沢健三、岡四四亥、尾崎三夫、熊倉雄三、近藤百之、籠島秀雄、齊藤昌治、笹川正男、山名栄一 (令夫人)、渡辺秋策

一昨年は中國を旅行され、今もついでに東北を三日旅行してから出席下さるというお元氣振りは頼もしい限りである。



経過報告、一人三十秒近況報告、先生のご挨拶、先生を囲んでの懇談といくら時間があっても足りない。ようやく校歌、応援歌の合唱で名残りつきせぬ想いを吹き飛ばした次第だった。
なお平成三年は卒業五十周年にあたるので、盛大に鍋茶屋でもやろうという計画が報告された。
また四月六日には南新潟日報社長就任祝いの名目で、市内在住有志十三名が割烹大直で集った。年一回だけでは物足りなく、何かと口実をつけて集まりたくなったのである。もうそれほど齢になつたということだろう。(大谷記)

玲瓏会

58回卒

58回「玲瓏会」は、高校(新中)卒業(S24・25年)満40年を迎え、新潟・東京合同の記念総会を5月12日「小さん」で開催しました。当初、参加30名位とふんだ幹事は、会場を「福富」に定めていた

四十八期会

例会の記

わが四十八期の恒例の例会が、昨年十一月十一日(土)が、昨年十一月十一日(土)割烹かき正で開催された。今回は特に遠く淡路島より仲野正之先生をお招きしたためか

東京ほか遠方からも馳せ参じてくれ、四十七名と過去最多の出席となり誠に盛会であった。先生は、高齢にも拘わらず

急遽会場の変更を余儀なくされた。夜の会場へと馳せ参じました。

鈴木杯
ゴルフコンペ

同窓会の活性化を図り、よき懇親の機会を深めようと一九八六年七月十八日に第一回のコンペが行われてから、毎年春と秋の2回行われて参りました。今年は6月7日にサンライズゴルフコースに於

58回「玲瓏会」は、高校(新中)卒業(S24・25年)満40年を迎え、新潟・東京合同の記念総会を5月12日「小さん」で開催しました。当初、参加30名位とふんだ幹事は、会場を「福富」に定めていた

同窓会の活性化を図り、よき懇親の機会を深めようと一九八六年七月十八日に第一回のコンペが行われてから、毎年春と秋の2回行われて参りました。今年は6月7日にサンライズゴルフコースに於

いて39名が参加して第9回のコンペが行われました。優勝は67回鍵富靖雄、準優勝は64回江口一弥さんでした。

次回のコンペは9月6日(木)紫雲ゴルフクラブに於いて行われます。歴代の優勝者による、鈴木会長より寄贈を受けた会長杯の取り切り戦が併せて行われます。コンペ

優勝は67回鍵富靖雄、準優勝は64回江口一弥さんでした。

に希望を参加する方は早めに母校事務局へお申し込みください。先着30名をもって締め切ります。



生帽を被ってきてもらわんと誰が誰だかすぐにはわからなくて」という迷言も出る始末でした。戦中、戦後の5・6年間を青山で過ごした我ら青陵健児、校歌と応援歌斉唱で散会のあとは、又の再開を約し、会場が新潟古町のど真中だったことでもあり、三々五々とネオン瞬く巷へ繰り出してゆきました。(BSN勤務 大関允良)



総会には渡辺秀英先生、阿部正先生、伊狩章先生をお迎えし、50余名の懐かしい顔が一堂に新潟芸妓のきれいだころのお酌で大盛会となりました。配られた座席表で氏名を確認しながら、ありし日の面影を無理矢理重ね合せ、昔話に花を咲かせましたが、顔と名前が一致しないのは、髪の毛のうすさや白髪など、ひたいたり上が原因だと「今度から学

(前頁七段目より) パンフレット等の日本語版を新潟側で作成し、厦門に来た日本の貿易関係者にも「メイド・イン・ニイカタ」として配布するという事、第三は、日本の首都圏の窓口としての新潟と、中国福建省の、そして将来的には台湾の生産拠点の窓口としての厦門が、航路、空路を含む、大きな物流を将来に目指す為の努力をお互いに行なうという事である。中国との交流にはまだまだ「寛容と忍耐」が必要であろう。しかし間違いなく経済開放は進み、そのせん兵は五つの経済特区であろう。グアムの定期便で敗北し、東南アジア航路の休止という強烈なパンチをみまいった新潟。次なる時代へ、国際都市をかけた戦いが、し烈になっている今、環日本海の南の拠点としての厦門に賭けるのも一つの道ではある。最後に、厦門は今後の観光ルートとしても大きな都市である事を即席のファンの一入として付け加えて置きたい。

画人笠原軌と その父漁村(十七)

60回 小林智明

「遊方会雑誌」と「芝蘭」(その二)

「遊方会雑誌」は明治三十一年に第一号を創刊してより、幾多の先輩俊秀達の論説や文苑、部報や雑報、同窓の通信、寄稿などで輝かしい伝統を培った。しかし太平洋戦争が始まる昭和十六年、学徒報国団の結成により、時代の赴くところ遊方会は解消、遊方会雑誌も五十三号で終刊となった。しかしその精神はやがて戦後の「青陵」に引き継がれた。

遊方会雑誌の一端を記したので、それ以前に存在した「芝蘭」についてもついでながら紹介したい。

明治二十八年、二年生の寄宿舎生が節和会という生徒の親睦会を作った。それが中心となって翌二十九年十一月に芝蘭という校内雑誌を刊行したのである。それが明治三十一年に、遊方会雑誌が遊方会という新潟中学校の正式な生徒校友会の機関誌として発足したことで、三十三年三月の第八号を以て終刊した。その八号の末尾に「旅窓節和会に寄す」という丸山玄海生の投稿がそのあたりをよく記している。「……想起す明治廿七年四月、小学を卒へて学

に新潟に遊び……茲来諸君と共に校に在ては熱心誠意席を同うして等しく三堀先生の数学を学び、或は木村先生の図画を習ひ、退へては共に手を携へて信川の清波に浮び、白砂松林の間に戯れ、或は爐辺に古今を論じて時の移るを知らざりき……然り而して此親愛なる節和会、此益友なる芝蘭誌、号を重ねる茲に八回にして今や乃ち永く相別れんとするの止むを得ざるに至り。玄海何ぞ本誌の一片を汚して離別の詞を為さざるを得んや、夫れ本誌三年の間、余を励まし、余を戒め、余を益し、亦余をして諸兄の消息を知らしむ其功や、照々復言を俟たざるなり。

蓋し人生するの日あれば亦死するの日ある、是れ天の自然、死何ぞ悲むに足らんや。夫れ人生の価値を定むるは蓋棺の日あらざらんば能はず。芝蘭の価値亦本日にて尤も明らかなり。……と

惜しくも八号で終刊した芝蘭であったが、その内容、校長をはじめ先生方の特別寄書、卒業生の寄書、在校生徒の投書より成り、三年間に八回の刊行をするというエネルギーな充実ぶりであった。

明治二十八年は、創立より僅か三年である。当時の寄宿舎は二つあって東舎に約五十名、西舎に約八十名合計百三十余名の、殆ど全県下から集まった俊英が寮生活を送っていた。

二年生には芝蘭の編集の中心人物であった橋本常藏(堀越村)をはじめ、長崎信吉(浪外、村松町)相馬三郎(乙村)石本良吉(亀田町)長谷川直二(亀田町)伊藤九郎太(沢梅村)諸橋喜久治(矢作村)伊藤太郎兵衛(黒川村)渋川四郎太(大郷村)佐藤欣二郎(五加村)関口泰輔(十日町)井上保(新発田)林茂(新関村)大竹温孝(中之島村)長谷川千代平(庄川村)弦巻林太郎(葛塚村)丸山八十司(五加村)神原恒三郎(村上町)和氣二郎(金津村)星義徳(京ヶ瀬村)渡辺十三郎(須田村)島与三郎(七穂村)歌川式(五泉町)佐藤次郎(村上町)細野亀平(乙村)関谷俊介(大崎村)霜鳥升(燕町)田代本憲(岡野町)佐藤佛造(関村)本間長治(佐渡金沢村)桑原貞輝(秋成村)鷲尾義房(黒鳥村)相沢良平(松ノ山村)など、三年生には竹前慶太郎(紫雲寺村)津野良作(関村)阿部敬三(新発田)小野謙三(加治村)岡田鹿蔵(初代民選知事、中条村)池田幸甚(新井村)小林鐵三郎(吉川村)山崎重太郎(高梨村)古川孝三郎(加茂町)目黒緑朗(安野村)田辺駿男(善高村)らだった。

一年生では桂宗佐、怒憲(新津町)兄弟、片山崑(巻町)などが節和会員であった。創生当時の節和会は九十余名の会員がいた。もちろん寄宿舎生だけに限られた訳ではなく、市内在住の会員には小黒直

(一)大白、古町通五)谷喬(学校町)行形勝四郎(西大畑)藤野吉郎平(寺裏)桜井政隆(天壇、大畑通)海津良太郎(旭町)青山賢三(上大川前通六)鳥居秀夫(旭町)清水安治(西堀通五)会津友一(古町通五)石井左武郎(西堀通四)斎藤喜一郎(東堀通十)建川美次(西堀通五)らだった。会津八一や山内保次、それに軌の兄、軌などはまだ一年生であった。

新潟中学校の第一回卒業生は、明治二十七年三月卒の六名である。明治二十五年七月に学校が創立して僅か二年足らずで卒業というのは、五年制では奇異に感じるかも知れないが、創立の時は、学力に応じて一年から四年級まで応募、入学したのである。



六名は入学の時すでに四年生として入学したいづれも北越学館や、東京英語学校などに学んでいた者であった。第二回卒の七名もまた然りであった。

因みに明治二十五年七月の新潟中学校創立時の入学生は百九十七名で、この内、四年生に入学した者は十二名、三年生に入学した者は二十名、二年生に入学した者は六十名、一年生は八十余名、級外が二十余名であった。これらの中には転校や留年、途中退学もあり、卒業は仲々に厳しかったのである。

このような創生期に生まれた「芝蘭」は時代をよく描き出している。維新の廢藩置県はつい近年の事であったが、依然として土族、平民の区別が存在していた。県内の俊秀が集った新潟中学生は、やはり土族や、地方の地主、豪族の子弟が多かった。

「芝蘭」第三号を読むと、森岩太郎教頭(三十二年

に校長)の「記憶に就きて」、及川常吉先生(英語の「米国の教育は欧州の教育に比して果して劣等あるか」など)、また三堀兵五郎先生(数学)の「旧藩時代の話(連載)」は長岡藩士の家に生まれた者の目から見た河井継之助の姿が如実に語られている。生徒の紀行や詩文もいろいろで、小黒大白の英詩の翻案創作「ひな乙女」という詩は

むらざとはづれ丘の上、ひたる枯草かきあつめ、
積みつたばねつひな乙女、もゆる暮さの夏の日に。
つやけき駒を止めおきて、乙女にちかく来りつつ、
水をとたまへともめけり、華奢に装へる若をの子。
かの乙女こそなかなか、まちなる若と比べられね、
無邪気のまなこ温和しく、いらふる言も静かにて、
はぢらふ顔のあいらしさ。……………(抄出)

と、明治の学生の若い浪漫的な心をうたい出している。また一方戊辰戦争の影を落す「阿彌陀寺懐古」という欠名生徒の漢詩には

枕城報国素心期 城を枕に国に報じて素心を期す
臣節従軍死後知 臣節 軍に従ふて死後に知る
吊客墓前寒月夕 吊客、墓前、寒月の夕
彌陀寺畔涙相隨 彌陀寺畔 涙 相隨ふ

とうたわれている。阿彌陀寺は会津若松にある寺で、戊辰戦争に戦死した長岡藩士らが葬られた寺である。前号で記した高橋翠村先生(漢文)の父君もまたその一人である。先生の詩集「静雲精舎存稿」にも同じ趣の詩があるので参考までに記す

下馬宮門懇海尼 馬を下りれば宮門 懇に尼に誨ふ
何知生死永相離 何ぞ知らん 生死長く相離るるを
秋風一掬蓼我淚 秋風一掬 蓼我の涙
瀧向彌陀寺畔碑 瀧さ向ふ 彌陀寺畔の碑

※前号に「芝蘭」を「紫蘭」と誤記しています。お詫びして訂正します。(つづく)

山岳部元顧問 飯塚良彦先生の 第二の人生を祝う会開催

山岳部草創の頃、長年にわたり顧問としてご指導いただいた飯塚良彦先生が、この春新潟南高校で定年を迎えられました。そこでいろいろお世話になったものたちから先生のご苦勞に感謝しようとの声が上ががり、山岳部でいずれ盛大に会を開こう、ついでとは



飯塚先生ご臨席の祝賀会

りあえず新潟在住者にて準備会を開こうと話は纏まり、大先輩64回小林光衛氏以下二十数名が集まりました。五月二十五日の事でした。飯塚先生にもご出席いただき、出席者順次、それぞれの在学時代の山行と先生との思い出などを語り合いました。奇しくも山岳部の歴史の一端を垣間見る思いでした。全国各地に散って活躍している山岳部OB、OGにも呼びかけて近いうちにまた集まり、語り合おうと準備会は予定の時刻を遙かに過ぎてなかなかお開きとなりませんでした。先生を絆に先輩後輩二十年近い年の開きを感じさせない処が、同じ釜の飯を食い、同じテントで寝た山岳部なのでしょう。

ハイティーン水泳 新中・新高⑫ 60回 平田大六(関川村)

21 中央高校

昭和二十四年新潟県立新潟高等学校入学。無試験入学である。何故ならば、私たちの学年は、昭和二十一年に小学校を終えて、新潟県立新潟中学校へ入る時に入学試験を受けているからである。一度フルイにかけられているという理クツであろう。私たちの学年が、同じ学校に六年間もこのへんのことになった事情は、かたして、新潟商業高校などへ転校してゆく仲間もいた。さて、この年プールでは華麗な異変がおこった。それは、中央高校の水泳部ができたけれどもプールがなかった。おそらく学校同志の話し合いの結果と思うのだが、近くに新潟商業高校のプールがあるというのにそれを通り越して私たちのプールへ通いはじめたのだ。

昭和三十二年、放課後毎日水泳部の彼女らは、赤い鼻緒の下駄をはいて中央高校の校門の坂をくだり学校町・関屋の大通りを歩いてプールへ来たのだ。私たちにあっては、これは大異変であった。この異変が、成長期にあつた私の精神の内部形成に深く影響することになった。私たちははじめ、彼女たちを「セントラル」と呼んだ。これは「中央」の英語であるが、彼女らも持物のなかに、アルファベットでNIGATA CENTRAL HIGH SCHOOL などと書いていたのである。ついでであるが、私たちは「新高」と云った。したがって、このごろ「県高」と呼ぶのは意味不明であると思つている。中央高校の水泳部員は、たいてい熊倉という男の先生に連れてこられたけれども、本格的な練習は、大黒善弥(50回)監督に委ねられていたよ

うである。大黒監督は、女生徒にたいしては、よく体を洗ってプールへ入る事、といつも注意されていた。そして「ジャベ」(註)が来はじめたからプールの水の濁りかたがはやい」とボヤかれておられる。そんなものかな、と私は思いプールの水を凝視した。高校一年生の六月に出場した下越地区の大会は新潟商業のプールで行われた。中学三年の時のこの大会での「実績」や、北日本高校、新潟市水上選手権でのキャリアのせいだつたらうか、四百、八百での私の優勝はだれも驚いてはくれなかった。下越地区は、佐渡が入らないのでプールを持っている高校は、村上、新潟商、新潟高の三校ぐらいであったから、大会前から「敵が見えて」いたのである。私が決勝のスタート台に立ったとき、大黒監督は「平田流せよ註」などとドナッて観客を笑わせていたのだから。しかし、夏休みに入ってからには、県高校選手権があるし、盆すぎには国体予選がある。ただちに合宿練習に入った。食糧寝具を持ちこんで、教室に蚊帳をつつて寝泊りしたのである。料理は新潟中央高校水泳部の女生徒が朝昼夜とつくってくれた。あるいは三年生の北井一郎サブマネージャー(58回卒)あたりの懐柔作戦で、「つくらせた」のかもしれない。しかしこれが問題となってしまった。(つづく)

22 混合練習のメリット

水泳部への入部希望者が急に増えはじめた。とうてい泳いでゆけそうにない体格の男たちまで入部してくるのだ。大黒監督も私たちも、はじめはこの現象の意味がわからず部員増を喜んだものであった。やがて私たちは、「敵は本能寺」という言葉を使いはじめた。大黒監督は、増員した部員たちも含めて強烈なトレーニングのメニューを実施した。本能寺の部員たちにとっては、大黒監督のハードスケジュールに耐えられるわけがなく、わずかの在籍期間で、みなプールを去っていった。料理は新潟中央高校水泳部の女生徒が朝昼夜とつくって

☆生徒たちに敬愛された、名物教師斎川先生が逝去された。各期から追悼の言葉が寄せられまして特集となりました。ご冥福をお祈り致します。
☆植木さん、皆川さんと特に編集部より依頼して、寄稿いただきました。母校も女子学生が増えて来ます。昨年に取り続き先輩女性の活躍の一端などをご覧いただければ幸いです。
☆編集の都合などで少しお休みしてしまいましたハイティーン水泳が再登場しました。お楽しみに。
☆クラス会はこれから開かれるところが多いようです。次の号にはまた、たくさん報告をお寄せください。(石)

編集後記

後輩の活躍

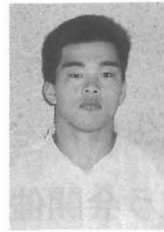
伊藤君(柔道軽中量級)らインターハイ出場

伊藤君 久代君 金子君



久代君 金子君

○柔道 軽中量一位伊藤肇 (インターハイ出場)



伊藤君

○剣道 男子個人三位鈴木木信



今岡さん・鈴木さん・桑原さん

○ボート 男子団体一位 シングルスカル一位佐藤勉(インターハイ出場)

○ラクロス 二位

大学入試の結果から

センター試験の平均点が上がる者... 向の中で本校も例外ではなく... 大、筑波大などでは好成績をおさめた...

平成 2 年度 主な大学合格者数 (旧卒者も含む)

Table with columns for university type (国公立大, 私立大), department, and number of graduates.

職員の変更

Table listing staff changes, including names, positions, and dates.

平成元年度 青山同窓会会費納入者追加分

(1月より3月までに納入のもの) 郵便振替口座 新潟5-4455青山同窓会) 納入先 第四銀行学校町支店口座 0275210青山同窓会)

会費納入のお願い 年会費1口1,000円 できるだけ1人2口以上でお願いします。現金納入は 新年会・総会の会場 又は母校同窓会事務局へ

Main table listing names and numbers of members who added contributions in the previous year.